別記第12　ＩＰ／ＭＡＣストリーム配置記述子の構成

ＩＮＴ記述子タグ	記述子長	ネットワーク識別子	オリジナルネットワーク識別子	トランスポートストリーム識別子	サービス識別子	コンポーネントタグ
8	8	16	16	16	16	8

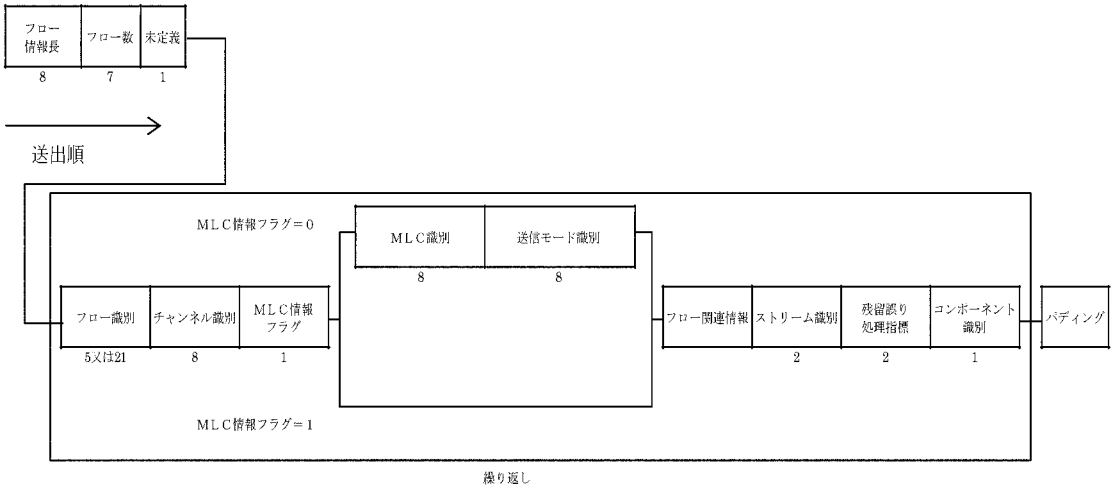
送出順

注１　ＩＮＴ記述子タグの値は、ＩＰ／ＭＡＣストリーム配置記述子を示す0x13とする。
２　記述子長は、これより後に続くデータバイト数を書き込む領域とする。
３　ネットワーク識別子は、ネットワークの番号を識別するために使用する領域とする。
４　オリジナルネットワーク識別子は、当該トランスポートストリームの元のネットワークの識別番号を示すものとする。
５　トランスポートストリーム識別子は、トランスポートストリームの識別番号を示すものとする。
６　サービス識別子は、放送番組番号を識別するのに使用する領域とする。
７　コンポーネントタグは、対象とするＵＬＥパケットを伝送するストリームのタグ値を書き込む領域とする。
８　本記述子は、ＩＮＴの記述子１または記述子３の領域で伝送するものとする。

別表第二十一号　識別子の構成

識別子	構成
テーブル識別子	別表第一号及び別表第二号並びに別表第十四号から第十七号までに示すとおり。
記述子タグ	別表第二十号及びＩＴＵ－Ｔ勧告H. 222. 0に従う。
ストリーム形式識別子	別表第十五号に示すとおり。
サービス形式識別子	別表第二十号に示すとおり。
放送番組番号識別子	別表第十四号に示すとおり。
サービス識別子	別表第二十号に示すとおり。
ネットワーク識別子	別表第十七号に示すとおり。
トランスポートストリーム識別子	別表第十七号に示すとおり。
限定受信方式識別子	別表第二十号に示すとおり。
システム管理識別子	別表第二十号に示すとおり。

別表第二十二号　ＦＤＭの構成



注１　フロー情報長は、フロー関連情報のビット数を書き込む領域とする。
２　フロー数は、繰り返しの数を書き込む領域とする。
３　フロー識別は、放送番組を構成する信号（以下この表において「フロー」という。）を識別するために使用する領域とする。
４　チャンネル識別は、中心周波数及び周波数帯幅を識別するために使用する領域とする。
５　ＭＬＣ情報フラグは、直前の繰り返しとＭＬＣ識別が同一であるか否かを識別するために使用する領域とし、値が‘１’のときは同一であることを、‘０’のときは異なることを示すものとする。
６　ＭＬＣ識別は、ＭＬＣを識別するために使用する領域とする。
７　送信モード識別は、変調方式、誤り訂正内符号の符号化率及び誤り訂正外符号の符号化率の組み合わせを識別するために使用する領域とする。
８　フロー関連情報は、フローに関する情報を書き込む領域とする。
９　ストリーム識別は、フローが伝送されるデータチャネルＭＡＣプロトコルカプセルのストリーム０、１又は２を示すために使用する領域とする。
10　残留誤り処理指標は、物理層パケットのデータ部のうち誤りを含むものの扱いに関する情報を書き込む領域とする。
11　コンポーネント識別は、16値直交階層振幅変調で使用されるコンポーネントを識別するために使用する領域とし、変調方式が16値直交階層振幅変調の場合において、当該領域の値が‘０’のときはベースコンポーネントのみを、値が‘１’のときはベースコンポーネント及び拡張コンポーネントを使用することを示すものとする。
12　パディングは、ＦＤＭのビット長が８の整数倍となるように調整するために使用する領域とし、７ビット以下とする。